

スタッフ便り

日ごとに秋も深まっているなか、センター周辺で金木犀の甘い香りが立ちのぼり、新棟の工事も終盤を迎えています。ふっと思えば、私は、学生として6年半、センター職員（研究員）として半年間、センターで過ごしましたが、それも終盤を迎えております。11月から、中国深センに本社を持つHuaweiという会社で新たな研究生活を始めます。センターでは、私は、スーパーコンピュータ技術をより身近で使えるために、音声や画像などを取り扱うマルチメディアアプリケーションを対象として、ベクトル型メディアプロセッサの設計に関する研究に取り組んでいました。そして、Huaweiではこの経験を活かし、引き続きマルチメディアアプリケーションの高速化のために、ハードウェアの視点からの解決手法を提案していきます。

近々センターで最新型ベクトルスーパーコンピュータSX-ACEを投入することになり、ベクトル機を研究対象としている私は、ワクワクしていると同時に、その活躍ぶりを見届けることはできず非常に残念なことに思います。ユーザーの皆様がSX-ACEを使い、より一層ご活躍することを心より期待しています。(N.T)

センターに異動してきて3ヶ月、センターのことを全く分からないまま異動してきましたが、7月に開催されたオープンキャンパスでは、スーパーコンピュータや三次元可視化システムを初めて見学することができました。その際に、”スパコンを見に来ました！”っと、元気に見学に来た高校生を見て、まだ4歳のわが子もいつしか興味を持ち、大きくなったら見学に来ることもあるのかなあと、先の未来に思いを馳せたりもしました。

子供の成長は早いもので、少し前までできなかったことが、いつのまにかできるようになり、驚かされることが多いです。先日、運動会がありました。昨年までは、大勢の観客に緊張して動けなくなっていました。今年は笑顔で手を振り、かけっこも最後まで走り抜け、障害物にも一生懸命に挑戦する姿を見ることができました。今はいろいろなことを吸収している毎日です。

そんな子供の姿を手本に、微力ながらセンターのお役に立てるよう、自分も成長していければと思います。(Y.I)

サイバーサイエンスセンター・情報部情報基盤課スタッフ 退職者のお知らせ

[退職]

2014. 9. 30 高也 (スーパーコンピューティング研究部・研究員)



写真上:整備中の青葉山新キャンパス(手前はセンター新棟)
写真下:センター新棟工事

SENAC 編集部会

小林広明 曾根秀昭 水木敬明 後藤英昭
江川隆輔 佐藤恵美子 高杉佳奈 大泉健治
小野 敏 斉藤くみ子

平成 26 年 10 月発行

編集・発行 東北大学
サイバーサイエンスセンター
仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3
郵便番号 980-8578

印刷 東北大学生協同組合
プリントコープ